

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高森町飯田線開通 100 周年記念事業
事業主体 (連絡先)	高森町飯田線開通百周年記念事業実行委員会 (高森町公民館:0265-35-9416)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	2,774,762 円 (うち支援金: 2,092,000 円)

事業内容

飯田線開通 100 年の節目に飯田線の歴史等を理解し、地域の活性化とともに新しい世代に飯田線をつないでいく。

- ①町内 4 駅に飯田線開通百周年の横断幕設置
- ②飯田線百周年ウォーキングの実施
- ③臨時列車「高森かきまる号」の運行
- ④鉄道グッズ大展示会の実施
- ⑤飯田線ふれあいフォトコンテストの実施
- ⑥資料館「時の駅」特別展の実施
- ⑦小中学校での飯田線を開いた人々の紙芝居公演
- ⑧記念誌の作成と学習会
- ⑨記念グッズの作成
- ⑩飯田線開通百周年記念給食の提供

事業効果

- ①記念誌「飯田線 駅街百年」の刊行、「特別展」の開催により、埋もれていた飯田線の歴史や飯田線開通で地域に与えた影響など、飯田線と共に歩んだ高森町の姿を浮き彫りにできた。
- ②紙芝居や学校給食、展示会、臨時列車等で小中学生を含め、次代を担う若い世代に飯田線への興味関心を深め、その存在をアピールすることができた。
- ③臨時列車運行、ウォーキング、鉄道グッズ展示会、特別展、学習会等、それぞれの催し物へ多くの人々が参加してくれた。商工会を通じ地元企業も加わってくれた。

今後の取り組み

記念誌「飯田線 駅街百年」は飯田線に関わる豊富な資料、写真を満載するとともに、聞き取り調査等も含めて新しい情報も取り入れるなどして「高森の飯田線百科」と言っても過言ではない。子どもたちにも十分親しむ事ができるものである。

数年後、リニア中央新幹線長野県駅が開業し、飯田線もその位置づけが重要視されよう。今後、小中学校の「総合的な学習の時間」等において記念誌を活用することで、改めて飯田線を地域の宝として誇りに思いふるさとを大事に考える子どもが育つことにつながっていく。

記念誌は PDF データとして公開し、だれでも活用できるようにする。(町ホームページにアップする)

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【記念ウォーキング・山吹駅】

【目標・ねらい】

- ①飯田線 100 年の歴史を理解する
- ②若い世代も飯田線と親しむ
- ③地元の活性化

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ・催し物は常に定員を満たし、多くの人がかかわることができた
- ・若い世代にも飯田線を位置づけることができた。
- ・資料館入場者が 2 月は前年比 136 倍の増となった。